

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年5月10日 (2018.5.10)

【公開番号】特開2016-225235(P2016-225235A)
 【公開日】平成28年12月28日 (2016.12.28)
 【年通号数】公開・登録公報2016-070
 【出願番号】特願2015-112998(P2015-112998)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 2/10 (2006.01)
 H 0 1 M 10/613 (2014.01)
 H 0 1 M 10/653 (2014.01)
 H 0 1 M 10/647 (2014.01)
 H 0 1 M 10/6555 (2014.01)

【 F I 】

H 0 1 M 2/10 E
 H 0 1 M 10/613
 H 0 1 M 10/653
 H 0 1 M 10/647
 H 0 1 M 10/6555

【手続補正書】
 【提出日】平成30年3月23日 (2018.3.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の電池セルを有する電池モジュールと、前記電池モジュールが固定される被固定部材と、を備えた電池パックであって、

前記電池モジュールと前記被固定部材との間には、前記電池モジュールに接する第 1 面と、前記被固定部材に接する第 2 面と、を有する介在物が設けられ、

前記介在物は、熱伝導性及び絶縁性を有し、前記第 1 面の粘着力が前記第 2 面の粘着力よりも弱い、電池パック。

【請求項 2】

複数の電池セルを有する電池モジュールと、前記電池モジュールが固定される被固定部材と、を備えた電池パックであって、

前記電池モジュールと前記被固定部材との間には、前記電池モジュールに接する第 1 面と、前記被固定部材に接する第 2 面と、を有する介在物が設けられ、

前記介在物は、熱伝導性及び絶縁性を有し、

前記第 1 面の粘着力が前記第 2 面の粘着力よりも弱い前記介在物が設けられており、前記介在物の前記第 1 面における前記電池モジュールに対する接着力が、前記介在物の前記第 2 面における前記被固定部材に対する接着力よりも弱い、電池パック。

【請求項 3】

前記介在物は、粘着性及び絶縁性を有する熱伝導部材と、前記熱伝導部材の一方の面に設けられるフィルムとからなり、

前記第 1 面は、前記フィルムの一面であり、前記第 2 面は、前記熱伝導部材の他方の面である、請求項 1 又は 2 記載の電池パック。

【請求項 4】

前記介在物は、粘着性及び絶縁性を有する熱伝導部材のみからなる、請求項 1 又は 2 記載の電池パック。

【請求項 5】

複数の電池セルを有する電池モジュールを、粘着力を有する第 1 面及び前記第 1 面より粘着力の強い第 2 面を有すると共に熱伝導性及び絶縁性を有する介在物を介して被固定部材に固定した電池パックの製造方法であって、

前記被固定部材に前記介在物の前記第 2 面を取り付けた後に前記第 1 面と前記電池モジュールとが接した状態で前記電池モジュールを前記被固定部材に固定させる、電池パックの製造方法。